

① 1年<校内 算数「3つのかずのけいさん」>

1年2組 H25.9.12 算数「3つのかずのけいさん」プレ授業



研究授業の前時、「3口の計算（引き算）」デジタル教科書の動画と静止画を活用。

動画で、お話のストーリーの全体をつかむ。

ノート指導のため、記入位置が分かるよう黒板上部に1〜10のカード



次に、静止画で、3場面の変わっていく様子を押さえる。



お話をもとにした問題文を提示。「大事なところ（数字や何算か分かる言葉）…棒線」と「求めるところ…波線」に線を引く。板書の問題文に書き入れ、全体で確認する。3場面の静止画は、電子黒板で投影し続けておく。



おはじき板では、「ブロックの家」と「操作の場所」を徹底

机上には、ノート、筆箱、ブロックとおはじき板。ノートには、問題文シートを貼り、めあてを書いている。手前には、おはじき板に10個のブロック。おはじき板の一番手前に10個を並べ、「ブロックの家」とし、操作する場所

を「ブロックの遊びに行く場所」とし、おはじき板上でブロックを動かす位置の区別を徹底しておく。ノートに「しき」「こたえ」「計算の流れが分かる書き込み（曲線でつなぎ途中の答えも記入）」を書く。実物投影機



でノートを投影し、児童に「計算の仕方」を説明させる。

1年2組 H25.9.13 算数「3つのかずのけいさん」本時授業



「3口の計算（加減混合）」  
めあて「3つのかずのけいさん  
をしよう（たしざんとひきざん）」  
☆デジタル教科書の動画と静  
止画を活用。

ノート指導のため、記入位置が分  
かるよう、黒板上部に「1～10」の  
カードを2列貼付。

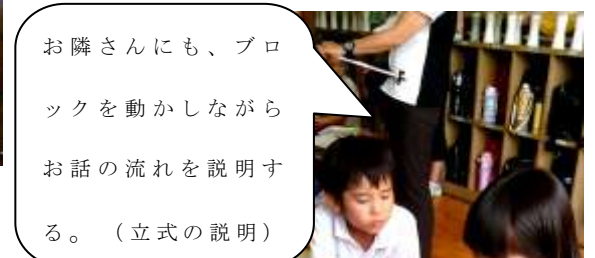
動画で、お話の全体のストーリーを  
つかむ。

次に、静止画で、3場面の変わって  
いく様子（加減混合）を押さえる。

お話をもとにした問題文を提示。



問題文シー  
ルをノート  
に貼る。



お隣さんにも、プロ  
ックを動かしながら  
お話の流れを説明す  
る。（立式の説明）

「大事なところ（数字や何算か分かる  
言葉）…棒線」と「求めるところ…波線」  
に線を引く。板書の問題文に書き入れ、全体で確認する。

3場面の静止画は、電子黒板で投影し続けておく。

お話の流れを、各自ブロック操作で確かめ、ペアで説  
明し合う。児童が黒板上で操作し、全体で共有する。



「ブロックの家（手  
前）」と操作場所は  
徹底しておく。

ブロック

操作により計  
算の手順を意識させ、1つ目の計算  
と2つ目の計算の順序が分かるよう  
に線と「途中の答え」を書き入れる  
方法を知らせる。



まとめ 「一つのしきでかくことができる」「ひだりからけいさんする」ことを確認する。活かす場面では、(黒板に書かれた)チャレンジ問題に挑戦する。書き終えた児童のノートを実物投影機でスクリーンに投影し、計算の過程を全体で確かめながら答え合わせをする。

